

ページ	意見内容	回答
3	1-(1)-①に「国道136号の沿岸部は、広葉樹林が」とあるが、「照葉樹と広葉樹の混合林」が正しいのではないか。	「広葉樹林」という表現は、照葉樹を含む広義の広葉樹林として整理したものであり、照葉樹も含まれる意味合いで記載しています。そのため、原案のとおり表記とします。
4	②の宇久須川についての記載であるが、「赤川水系からの酸性水による問題も多々あるが」旨の挿入が必要（問題点をあげる場所があるならそこでも良い。）	当該ページは、景観の特徴を整理することを目的として記載しているため、御指摘の内容をここで記載することは適切ではないと考えています。 なお、いただいた御意見については、景観との関連性は限定的ではありますが、貴重な御意見として今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
4	『宇久須川の堤防法面については、令和元年から開始された「宇久須美野里（みのり）プロジェクト」の活動により景観が著しく改善された。』との記載がほしい。（記載場所は他のページでも良い。）	当該ページは、景観の特徴を整理することを目的として記載しているため、御提案の内容をここで記載することは適切ではないと考えています。 なお、「宇久須美野里（みのり）プロジェクト」の活動については、12ページにおいて関連する取組として記載しています。
14	斎場が移転する旨の記載が必要ではないか。 現在町内にある交番が1か所に集約されると聞いているが、その旨の記載が必要ではないか。 長期間使用する計画であるから、移転や集約が決定ないし内定している案件は当然記載すべきである。	当該ページに掲載している公共施設の位置図及び一覧については、現時点における施設の配置状況を整理したものとして記載しているため、移転や集約が予定されている施設については記載していません。 なお、斎場及び交番を含め、今後、公共施設の更新や再編が行われる可能性があります。本計画は一定期間ごとに見直しを行うことを想定していることから、その際に内容の更新を検討していきます。 また、施設の位置が将来的に変更された場合においても、本計画の適用の考え方に影響が生じるものではないため、現時点の記載で問題はないものと考えています。
31	1-2 136号から、黄金崎からよく見える採石場にはどう対処するのか。昭和40年代に採石し、その後放置されている跡地があり、クリスタルパークから見えるが、対策は。一色の県道沿いの大規模採石場跡地はかなり見苦しいが。緑地景観対策が必要。	黄金崎周辺から視認される採石場跡地等に関する御指摘については、個別具体的な景観対策に関する内容となります。 当該ページは、目標ごとの景観まちづくりの方針を整理したものであり、個別地点に関する対策を記載する構成としていないことから、本計画への記載は適切ではないと考えています。 なお、黄金崎クリスタルパーク周辺を含めた景観に関する御意見については、貴重な御意見として今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
31	1-3 黄金崎ダイビングスポットと根合海岸を結ぶ遊歩道は、長期間通行止めになっている。災害防除工事が必要なら実施し、周遊できるようにする必要がある。波で壊れない構造物を作るのは難しいとは思えない。	黄金崎周辺の遊歩道に関する御指摘の箇所については、歩道の修繕に加え、周辺法面の安全対策等を含めた検討が必要となる箇所と認識しています。 当該ページは、目標ごとの景観まちづくりの方針を整理したものであり、個別具体的な整備内容を記載する構成としていないことから、本計画への記載は適切ではないと考えています。 なお、いただいた御意見については、貴重な御意見として今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
32	1-4 北海道美瑛町の白金青い池は有名な観光スポットであるが、潮の高い時、宇久須駅横の川を見ると不気味な青さである。宇久須川下流域の深みについても同様である。すぐできる有効な対策はないだろうが、長期的な対策が必要。	宇久須川下流域の水の状況に関する御指摘については、河口部における閉塞等により流れが停滞していることなど、複合的な要因が考えられます。 当該ページは、目標ごとの景観まちづくりの方針を整理したものであり、個別具体的な環境対策を記載する構成としていないことから、本計画への記載は適切ではないと考えています。 なお、いただいた御意見については、貴重な御意見として今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

ページ	意見内容	回答
32	<p>1-5 散策路について提案</p> <p>①クリスタルパーク山側の町道沿い。津波避難路にもなる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東側にある野外ステージの観客席上部の芝生土手を散策路として利用する。 2. 鈴木さん宅のすぐ上の法面に階段を設置する。 3. クリパの真裏になる部分に歩道を新設。高低差のない木製デッキのような施設が理想的。 4. そこから先委はクリパの芝生広場を大回りする形で、国道交差点まで道路沿いに芝生の歩道を新設する。 5. 桜を捕植し、花見スポットとして整備する。 6. 民地であるが道路沿いの山にも部分的に桜を植えたい。 <p>②黄金崎早咲き桜の丘</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 陶芸小屋錦秋の上にあったバンガローが解体され、道が雨で流された。ボランティアが補修したがやはり荒れる。 2. 法面防災工事をした上段の広場まで散策路を整備したい。(階段工と手摺工) 3. 絶好のビュースポットである。 	<p>当該ページは、目標ごとの景観まちづくりの方針を整理したものであり、個別具体的な整備内容を記載する構成としていないことから、本計画への記載は適切ではないと考えています。</p> <p>なお、いただいた御意見については、貴重な御意見として今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
34	<p>2-1 巨木、古木ではないが、宇久須神社の早咲き桜に注目していただきたい。伊豆でトップクラスの早咲きである。</p>	<p>御意見を踏まえ、宇久須神社の早咲き桜を5ページ「主な自然の景観要素」の花の名所に追加するよう修正します。</p>
34	<p>2-2 休耕している水田で稲作が復活する可能性はほとんどゼロである。相続により町外居住者が所有している率もどんどん高くなる。除草の費用負担もだんだん難しくなるだろう。水田として農地を保全し、景観を維持するには公の力によるしかない時が近づいている。農地政策の抜本的改革が必要であり、そうでなければ景観の改善、維持はできない。</p> <p>農地法5条で売買されたとちもかなりあるだろう。荒れかたもひどいように見受ける。これらについては強い指導ないし処罰が必要である。</p>	<p>農地の維持管理の担い手不足や所有者の町外化の進行に伴い、休耕地の増加や荒廃農地が景観に影響を及ぼしている状況については、課題として認識しています。</p> <p>一方で、農地の保全や利用に関する制度的な対応や指導等については、本計画の範囲を超える内容となることから、具体的な施策を本計画に記載することは適切ではないと考えています。</p> <p>なお、いただいた御意見については、関係分野とも連携しながら、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
34	<p>2-3 38ページの空き家対策とも関連するが、「昔ながらの漁村集落の景観の保全」は住宅用建物については無理だろう。老朽化した密集住宅群の保全は、①大金がかかる、②まともな道路のないところに住みたい人はいない、③個々の敷地面積があまりにも狭すぎる、④火災、地震・津波災害に脆弱、等の理由で実現性がない。密集地の宅地の寄付を継続的に受け、さらに長期ビジョンを作り、町を作り変えることを考えるべきだ。(52～55ページ関連)</p>	<p>漁村集落における住宅の老朽化や密集市街地の防災性、空き家の増加等については、重要な課題であると認識しています。</p> <p>本計画における「昔ながらの漁村集落の景観の保全」は、既存建築物をそのまま維持することのみを目的とするものではなく、密集した建物配置や路地空間など地域固有の空間構造や雰囲気を活かしながら、活用や再生も含めて景観の形成を図ることを目的としています。</p> <p>一方で、宅地の集約やまちの構造の再編といった具体的な土地利用施策については、本計画の範囲を超える内容となることから、計画への記載は適切ではないと考えています。</p> <p>なお、いただいた御意見については、空き家対策や防災まちづくり等の関連分野とも連携しながら、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
34	<p>2-4 国道、県道沿いの看板等の取り締まりは県土木事務所の管轄であるが、一向に進展しない。黄色と赤色のシールが貼られた看板が各所にある。町も県に協力して進展させたい。(42ページ、92ページ関連。)</p> <p>町内には廃業ないし長期休業中の商店、飲食店、宿泊施設がたくさんある。それらの建物に書かれ案内サイン、看板、野立看板等の放置が目立つ。景観上の問題とともに来町者に対して非常に不適切である。撤去ないし塗りつぶしを早急に進めたい。</p>	<p>道路沿線における看板や広告物、廃業施設等に付随する案内表示の放置については、景観を阻害する要因の一つであると認識しています。</p> <p>屋外広告物に関する指導や是正については、関係機関の所管となるものもありますが、本町としても関係機関と連携しながら、良好な景観形成に向けた取組を進めていくことが重要であると考えています。</p> <p>いただいた御意見については、本計画における「集落地景観を阻害する要素・要因の抑制・改善」の取組を進める上での参考とさせていただきます。</p>

ページ	意見内容	回答
38	3-6 空き家になった中古住宅が信じられないような低い価格で町外者に買収されている。町はその件数を把握しているだろう。別荘的な目的で取得した人が多いと思われ、近隣住民とのトラブルの発生が懸念される。民泊的な用途に供せられればなおさらである。トラブル発生を未然に防ぐ方策が必要。	<p>空き家の取得者の多様化に伴い、利用形態によっては地域との関係性や生活環境への影響が懸念される場合があることについては、課題の一つであると認識しています。</p> <p>本町では、西伊豆町空家等対策計画に基づき、空き家の適正管理や活用促進に取り組んでおり、周辺環境に配慮した適切な利用が図られることが重要であると考えています。</p> <p>いただいた御意見については、地域との調和やトラブルの未然防止の観点も含め、今後の空き家対策や関連施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>
42, 43	この地区から少しはずれるかもしれないが、沢田地区の国道沿いにはごみステーションの設置がないのだろうか。ごみ収集日に路上にごみ袋が置かれているのを見た。すでに改善されているかもしれないが、未だなら早急に対策が必要。景観云々以前の問題である。	<p>沢田地区におけるごみ集積に関する御指摘については、生活環境の維持及び景観の観点からも重要な事項であると認識しています。</p> <p>ごみ集積所の設置や管理については、地域の実情に応じて自治会等が主体となって運用されているものですが、本町としても地域と連携しながら適切な環境の確保が図られることが重要であると考えています。</p> <p>なお、個別具体の運用に関する内容については本計画に記載する事項ではないことから、計画への反映は行いませんが、いただいた御意見については関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
46	仁科峠と山稜線は県の管轄かもしれないが、提案がある。①駐車場の整備（現状はあまりにもお粗末。）②トイレの整備、それが無理ならせめてトイレのある場所のサイン看板の設置。（植樹祭会場にはトイレあり。牧場の家のトイレは室内だけですか。だとすると休業日はだめ。）ハイキングコースにはたぶんトイレはない。	<p>仁科峠周辺における駐車場やトイレ等の利用環境に関する御指摘については、来訪者の利便性向上や周辺環境の適切な利用の観点から重要であると認識しています。</p> <p>一方で、当該施設の整備や管理については関係機関の所管となるものもあることから、本計画において具体的に記載する内容ではないと考えています。</p> <p>いただいた御意見については、関係機関と情報共有を図りながら、今後の参考とさせていただきます。</p>
46	③大型遊具跡地の有効利用を図りたい。緩やかな地形で散策路も作りやすい。豆桜の植栽はどうか。伊豆で一番遅い桜も良いのではないか。	<p>大型遊具跡地の有効活用や植栽等に関する御提案については、西天城高原の景観資源を活かした利活用の可能性の一つとして参考となるものと考えています。</p> <p>一方で、具体的な整備内容や個別箇所の活用方法については、本計画において記載する内容ではないことから、計画への反映は行いませんが、いただいた御意見については今後の取組を検討する上での参考とさせていただきます。</p>
93	③かつて旧賀茂村では三活動という実践活動があった。P連が主催で、各区、自治会、各種団体が協賛した。日時を定め村内全域一斉にゴミ拾いを行った。中心は子供たちだった。環境教育にはもってこいの活動だった。合併と同時になくなった。	<p>旧賀茂村における地域一斉の清掃活動の取組については、地域住民の協働による景観づくりや環境意識の醸成に資する活動の一例として参考になるものと考えています。</p> <p>本計画では、町民・事業者・行政の協働による景観まちづくりの推進を位置づけており、いただいた御意見については、今後の普及啓発や地域活動の促進を検討する上での参考とさせていただきます。</p>
総体的に	これからどうするはよくわかったが、すでに発生している課題にどう対処するか、が非常に弱い。問題の解決と両輪で進めていきたい。	<p>本計画では、将来を見据えた景観まちづくりの方向性を示すとともに、既に顕在化している課題への対応についても重要であると認識しています。空き家の増加や景観の維持管理の担い手不足、既存施設の老朽化などの課題に対しては、関連計画や既存制度と連携しながら、優先度を踏まえて段階的に対応を進めていきます。また、景観の保全・創出の取組と課題解決に向けた取組を両輪として推進することで、実効性のある景観まちづくりを進めていきます。今後も地域の実情を踏まえ、関係者との連携のもと、着実な改善に努めていきます。</p>